

# Hyogo大好き!

16号  
2021年  
秋号

兵庫県議会議員

## 相崎 佐和子

県政活動ニュース



- ▶ 新知事に求める! 県民が主役の兵庫を!
- ▶ 野戦病院は作らないのか?~コロナ対策~
- ▶ こども家庭センターの強化を!
- ▶ カーボンニュートラルの実現へ!
- ▶ 信号灯器のLED化を進めよ!
- 「第34回 サワコの茶話会」やります

新型コロナウイルス感染症が最初に確認されてから1年半以上が経過しました。この期間、お亡くなりになった方に深くお悔やみを、罹患された方に心よりお見舞いを申し上げます。最前線で尽力くださっている医療従事者の方々、生活を支えてくださっているエッセンシャルワーカーの方々に、そして感染拡大防止のため外出自粛や休業時短などのご協力をいただいている全ての皆様に、心より感謝を申し上げます。

県議会議員として改めて、“皆様のお命と暮らしを守りたい、守らねばならない”と、強く思っています。医療や検査の体制を徹底的に強化して命を守ること

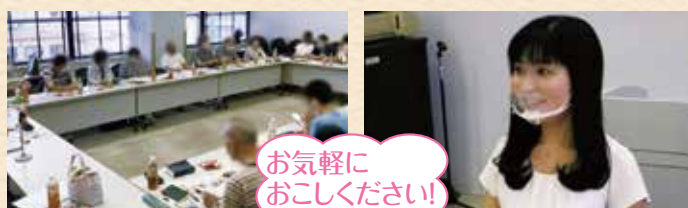
をまずは最優先で取り組むこと、そして大打撃を受けている私たちの生活や仕事を支えて立て直すこと、さらにその情報をあらゆる方法を駆使してお伝えすることが、今求められている議員の使命であると捉え、真摯にまっとうに取り組んでまいります。

そんな中で最も大切なことは、皆様のお声を聞かせていただくことです。現場を知らず、頭の中や机の上で考えただけのズレた取り組みは許されません。引き続きいっそう、現場に足を運び、皆様のお声をしっかりお聞きし、真に私たちのためになる社会をつくる決意です。

### 第34回 サワコの茶話会

普段思っていることなどを語り合う“サワコの茶話会”。ぜひお気軽にご参加ください。お会いできるのを心より楽しみにしております。

- 日時：2021年11月20日(土) 14:00～16:00
- 場所：東りいたみホール3階 大会議室
- 申込：お名前&連絡先をメール・電話・FAXなどで



お気軽におこしください!

※感染症の状況によりオンライン開催にすることがあります  
 ※飛び込み大歓迎ですが、資料準備のため事前にお知らせいただくと助かります  
 ※保育はありませんがお子様連れも大歓迎です

# 新知事に求める! 県民が主役の兵庫を!

## 20年ぶりの新知事

8月1日、齋藤元彦氏が兵庫県の知事に就任されました。20年ぶりとなる新しい知事の誕生です。「兵庫県はどう変わるのか?」と、期待と不安のお声を多くいただいています。県政が今後どう変わるかはまだ不透明ですが、私は2つのスタンスを大事にする兵庫であらねばと思っています。

### 大事なスタンス① 参画と協働を進めるべし!

兵庫県は震災以降、“参画と協働”を進めてきました。行政と県民が対等の立場で、共に物事をつくり上げる姿勢です。長年の取り組みで定着した兵庫の宝です。トップが独断で決めるトップダウンではなく、話し合っ**て**共**に**つくる**ボトムアップ**の兵庫でありたい。主役は**県民**でありたいと考えます。

### 大事なスタンス② 医療・福祉・教育を大事にすべし!

改革は**もちろん必要**です。旧態依然の無駄な取り組みは果敢に見直すべきです。ただ“何でもかんでも切り捨てる改革”はしたくありません。特に**医療・福祉・教育・人権**など、生活に直結するもの、人の根幹に関わるものは、**行政と政治が守るべきもの**です。そこを大事にする兵庫でありたいと考えます。

## 「県民主役のボトムアップ県政」by 知事

この想いを会派の重要政策提言の場(9月15日)で、**知事に直接つよく訴えた**ところ、知事からは**「参画と協働の姿勢は引き続き大事にする」と明言**がありました。そして迎えた9月定例会(9月21日~)、初日の知事提案説明(実質的な知事の所信表明)にて提示された3つの県政姿勢の**1つが「県民ボトムアップ型県政」**でした。“これはこれまでの県政姿勢である参画と協働と軌を一にするもの”とのこと。

もちろん、トップがリーダーシップを発揮してスピーディかつフレキシブルに改革を遂行することは重要です。ただ、トップが私たちの声を聞かずに大事なものを切り捨てる兵庫に

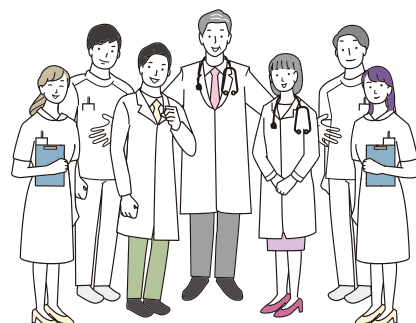
したくないのです。現時点で、知事がボトムアップ型県政を表明されたことは一定評価しています。この姿勢が維持推進されるよう注視し続けるとともに、実際に私たちの声を上げて真に**「県民が主役の兵庫」**になるよう、力を尽くしてまいります。



## 野戦病院は作らないのか? ~コロナ対策~

コロナ対策について、県の医療体制へのご意見を多くいただいています。**第5波ピーク時に多くいただいたのが「野戦病院を作らないのか?」のご意見**でした。9月初旬に病床稼働率が約75%となり、大規模な治療施設を求めるお声はごもっともです。ただ、**医療施設の整備は従事者(医者や看護師)とセット**になります。経費をかければハード整備は可能ですが、医療従事者が確保できなければ稼働できません。そこでまずは、県立病院はもちろん病院協会や民間病院等にも直接要請するなどあらゆる方法で

**人材を確保し、1床でも多くの病床稼働**に努めます。さらに、医療従事者が少なくとも稼働が可能な**療養施設のさらなる拡大**も図ります。今大事な**のは、手と気を緩めないこと**。ほんの少し逼迫が回避された今こそ、医療体制の強化に取り組みます。



6月  
定例会で  
質問

## こども家庭センター(児童相談所)の強化を!

早急の対策が必要な**児童虐待**。県内の相談件数は8,308件(2019年度)で過去最多、**この10年で3.6倍と急増**するのに対し、受入体制はハード・ソフトともに万全ではない状況です。

ハードにおいて、県はこども家庭センター(児童相談所)を既存の5センターに加えて、この4月に**尼崎市と加東市に整備**、また一時保護所を**川西市に整備予定**ですが、まだ不足しています。特に一時保護は受入人数に限りがありさらなる整備が必要です。

ソフトにおいて、県は77名の児童福祉司を専門職として採用していますが、国の配置基準が引き上げられたことを含め**人材不足**であり、**確実な確保策**が必要です。同時に**資質の向上**も必須で、経験の積み重ね、研修等での学び、ベテランと若手のバランスよい配置などが必要です。

増加する児童虐待の相談件数に対応するため、受け入れ体制の更なる強化が必須である中、施設の現状認識と今後の見解、児童福祉司の具体的な確保育成策は?また法改正により中核市のこども家庭センター整備が可能になったことを踏まえ、県内中核市で独自のセンターを持たない姫路市と西宮市への働きかけは?

### 答弁

- ・一時保護所は、旧川西こども家庭センター跡地に2023年度までに開設予定。中央こども家庭センターの一時保護所も建替か移転新築を検討。
- ・人材の確保は、福祉・心理系の大学・短大や社会福祉士会等への求人活動、採用時の年齢要件の緩和、業務手当の増額などの処遇改善を実施。
- ・資質の向上は、専門研修や新任職員研修、ベテラン職員が講師のマンツーマン研修などを通じた育成を実施。
- ・中核市のセンター整備は、既存の明石市が県と連携して整備した例を踏まえ、計画中の尼崎市とは連携を、姫路市と西宮市はネックである専門家の養成を支援。

相崎  
コメント

児童虐待の相談件数が急増しているのに対して、施設も職員も追いついていません。これは大変憂慮すべき状況です。1人でも、つらい状況の子ども、しんどい思いを抱える保護者をなくしたい、尽力されている職員を心身疲弊させたくない。引き続き力を入れて不断で取り組みます。

6月  
定例会で  
質問

## カーボンニュートラルの実現へ!

**カーボンニュートラル(炭素中立)**とは、人間の活動における**二酸化炭素の排出量と吸収量を同じにする環境分野の概念**です。パリ協定でカーボンニュートラルがうたわれ、日本も**2050年カーボンニュートラルを宣言し温室効果ガスの排出を2013~2030年度で46%削減**するとしました。

国内外の動きが急加速する中、**県は「地球温暖化対策推進計画」**を3月に改定して取り組んでいます。温室効果ガス削減目標26.5%→35%、再生可能エネルギー導入目標70億→80億キロワットアワーなど、取り組みを強化した改定であるものの、まだ十分ではありません。まずは**目標値への取り組みを具体的に示す**こと。削減目標値35%は算定根拠が分かりづらいことから、個々の取り組みにおける具体的な削減目標値を掲げ、その積み上げで全体の35%に至るように詳細を示すことが必要です。さらに、**削減目標値をさらに引き上げること**。国が46%に引き上げたことを受けて、県も35%からさらに引き上げて取組を強化せねばならない状況です。

2050年カーボンニュートラル実現に向けて、県の「地球温暖化対策推進計画」の温室効果ガスの削減目標35%の算定根拠を明確にすること、個々の施策目標値を設定して積極的に取り組むこと、国の目標値46%を踏まえて県もさらに強化することが必要だがいかがか?

### 答弁

- ・県は、昨年9月に2050年カーボンニュートラルを表明。本年3月に地球温暖化対策推進計画を改定
- ・削減目標値の算定根拠は、生産量や出荷額等の推移、電源構成の見直し、国計画の取組、県の取組強化をベースに県環境審議会にて審議。
- ・兵庫県は産業・業務部門で排出量の約7割。生産プロセスの見直し効果も加味。
- ・家庭や運輸部門では住宅用太陽光発電、エコ診断や次世代自動車の導入など。
- ・国の再エネ支援策の強化による県内事業者の脱炭素経営の動向も勘案して、計画の対策内容と削減目標を見直す

相崎  
コメント

世界で2025年のカーボンニュートラル(炭素中立)が叫ばれています。絵に描いた餅にならないよう確実に実現したいところ。兵庫県は重厚長大産業が発展していることから工業系の二酸化炭素排出割合が多い特徴あり。工業系の再生可能エネルギー転換のインセンティブ付与なども県が出来る取り組みです。これら含めて、県ができる取り組みを進めます。ご家庭でも二酸化炭素削減の取り組みをよろしく願っています。

6月  
定例会で  
質問

## 信号灯器のLED化を!

**信号灯器のLED化**は、**電力の削減**(使用電力が1/7に)、**メンテナンスの簡素化**(年間約1億円の玉替え経費が不要に)、**安全性の向上**(点灯色が判別しやすい)など多くのメリットがあります。しかし県のLED化進捗状況は37.5%(2019年度末)で全国ワースト4位です。

LED化は使用電力が1/7になることから**経費削減**になります。切り替えには用が必要ですが中長期で大幅に経費が削減できるのです。現在は、年間5億円かけての老朽化した信号機の整備に併せてLED化していますが、進捗が芳しくありません。**一気に初期投資してLED化し、中長期の経費削減につなげるべき**で、具体的な**整備計画**としかるべき**財政措置**が必要と考えますがいかがか?

### 答弁

- ・交通安全施設等整備費に加え老朽化対策費用として措置している公共施設等適正管理事業費も活用してLED化を推進。
- ・2020年度はLED化率37.5%から41.7%まで引き上げたが全国平均約60%には及ばず。
- ・2030年度までにLED化率約80%を目標に、必要な予算の確保に努めてLED式信号灯器の計画的な整備に取り組む

相崎  
コメント

言い続けている信号灯器のLED化。一気に初期投資してLED化して中長期の経費削減につなげたいのです。実はこれ、県から県警への財政措置がポイントで、県財政に如何にイエスと判断させるか・・・。最低限、今年5億円をキープしたいところ。今後中長期ビジョンでの財政運営を見据えた提言を重ねていきます。

●但馬・丹波をヒアリング!

7月29日、所属する産業労働常任委員会で但馬と丹波に赴き、状況や課題をヒアリングしました。やはり直接の対話はリアル。現場の声を聞くことをこれからも大事にします。

●但馬県民局：コロナで観光業が大打撃。キャンプなどは好評→ポストコロナの但馬ならではの振興策の可能性あり。県は模索し支援したい。

●丹波県民局：リタイア世代の移住が好調。移住先の古民家は空き待ち状態→県はマッチングに力を入れたい。



●知事に申し入れ!

8月11日、酒類販売事業者への支援強化について、県議会5会派で知事に申し入れを行いました。支援が不十分であるとの声を受け、県の支援金の拡充を求めたもので、その後申し入れ内容は実現に至りました。今後も県議会として力強く声を上げ、私たちの生活向上に努めてまいります。



●全国の先進事例を学ぶ!

7月7・8日、早稲田大学の大隈講堂で「全国地方議会サミット2021」を開催しました。オンライン参加含めて約400人が参加。主催のローカル・マニフェスト推進連盟で私は共同代表を務めており司会進行などを担当。北川正恭氏（早稲田大学名誉教授）、広瀬克哉（法政大学総長）、片山善博（早稲田大学教授）、全国の議会・事務局・メディア・・・豪華ラインナップで、議会に求められている課題と先進事例をたっぷり学び

ました。これからも全国の仲間と学びあい、議会から地域を、地域から日本を変えていきます。



情報はここから

もっと情報をお届けしたい、もっとお声をお聞きしたい。その思いから、様々な方法で情報を発信しています。

皆様に情報が届き、お声を聴かせていただくことができれば嬉しい限りです。

動画「相崎佐和子チャンネル」

直接お会いしてお話している気持ちで語っています。

視聴方法

YouTubeで「相崎佐和子チャンネル」と検索するか、QRコードを読み取ってください。



メールマガジン「相崎佐和子レター」

親しい方に手紙をお送りする気持ちで書いています。

登録方法

下記の連絡先までメールアドレスをお教えてください。メルマガ登録します。

~Profile~

- 1973年3月生
- 親和女子高校 ●奈良教育大学 ●// 大学院(政治学ゼミ)
- ORIXブルーウエーブ マスコットガール
- 地元ケーブルテレビ(現:ベイコム)アナウンサー
- 第12代兵庫県広報専門員
- 伊丹市議会議員(3期) ●第61代 伊丹市議会議長
- 阪南市議会議長会 会長
- 兵庫県議会議員(1期目)
- ローカルマニフェスト推進連盟 共同代表
- 出産議員ネットワーク 関西代表
- 第11回マニフェスト大賞優秀賞 受賞
- 小学校・中学校(社会)・高校(地理歴史) 教員免許
- 家族:夫・長女(高1)・次女(小6)

その他の情報

活動ニュース

バックナンバーは右記HPに。郵送希望はご連絡を

ホームページ  
<http://sawako-aizaki.com>



Facebook

<https://www.facebook.com/sawako.aizaki>



ツイッター

<https://twitter.com/aizakisawako>



インスタグラム



YouTube



連絡先

発行元：相崎佐和子  
伊丹市西台2-5-11 松屋ビル2階  
電話▶(072) 768-9260 FAX▶(072) 768-9261  
メール▶sawako.aizaki@gmail.com